

令和7年度 八丈町校長会

I 活動方針・重点事項等

- 八丈町立小学校教育の振興及び充実・発展
- 教職員の資質の向上を図る研修・研究活動の推進
- 教育環境に係わる条件整備の充実の推進

II 活動・取組

1 経営研修

学校経営を担う人材育成を目指し、選考の時期に合わせて実施

- (1) 開講式 令和7年5月28日(火) 講話：八丈町教育委員会 教育長
対象：副校長、教育管理職選考受験者、任用審査対象者、校長職候補者選考受験者
- (2) 論文指導 町内の校長が担当して実施 (経営研修担当が担当の割り振りを計画)
- (3) 面接指導 受験者につき2回実施 受験時期に合わせて設定 (7月～10月)
- (4) 閉講式 令和7年12月 講話：教育庁八丈出張所 副所長

2 コミュニティ・スクールの充実

令和7年度で町立小中学校すべての学校がコミュニティ・スクールとなった。コミュニティ・スクールとしての取組の充実のため、地域・保護者への理解を進め、学校運営協議会が学校運営に効果的に機能するようにしていく。

3 小中一貫教育の推進

- (1) 学園 (1小学校1中学校で学園を構成している) 交流の実施
地域の特色を生かした連携の工夫と保育園・高等学校との連携
- (2) 町教育研究会での小中一貫教育の取組
 - ・小中学校の教員で部会を組織、都立八丈高等学校・都立青島特別支援学校八丈分教室の教員も賛助会員として参加
 - ・一斉部会は年間3回実施、小中9年間において育む資質・能力を視点とする。

III 地区の特色

東京から南約290kmに位置し伊豆諸島の中で南から2番目に位置する。一年を通して温暖で、雨が多く「常春の島」として知られる。黒潮の影響で「八丈ブルー」と呼ばれる透明度の高い美しい海が特徴。ここ数年、晩秋から春先にかけて島内の様々な場所からザトウクジラが目撃情報が頻繁にあり、連日の様に陸上からのホエールウォッチングができる。令和7年度は、八丈町町制施行70周年を迎え、團伊玖磨生誕100年記念特別公演 歌劇 夕鶴の上演等、歴史と文化を継承し未来へ繋げていく記念の年で多くのイベントが行われている。ユネスコが認定した世界消滅危機言語の1つ八丈方言を継承するための教育活動も大きな特徴の一つである。年1回開催される八丈方言大会には、小中学生も参加している。



長野県木島平村立木島平小学校・八丈町立小学校3校・青ヶ島村立青ヶ島小学校の5校の5年生の児童が交流活動を行っており、米の栽培・八丈島での交流・木島平村でのスキー・その交流を行っている。

遠泳は、八丈町立小学校3校の6年生が合同で開催。当日は、海難救助隊・警察・港湾・漁協関係者等多くの皆様が協力して下さり、安全に実施できている。

